

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第17号については最新の台風予報を参照。
- 16日から20日にかけて、高気圧が千島の東から日本のはるか東に移動する。
- 16日から19日にかけて、低気圧が黄海からサハリン付近に進む。

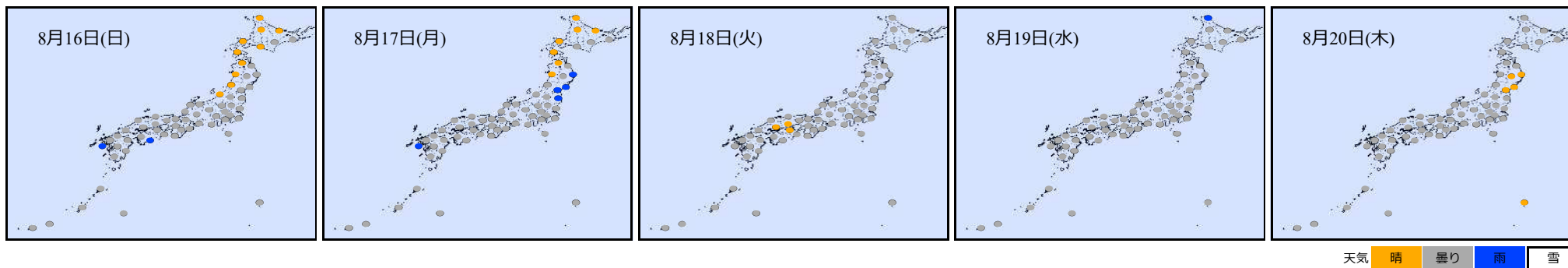
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 西日本では、気温が平年よりかなり高くなり、最高気温が35度以上となる所がある。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

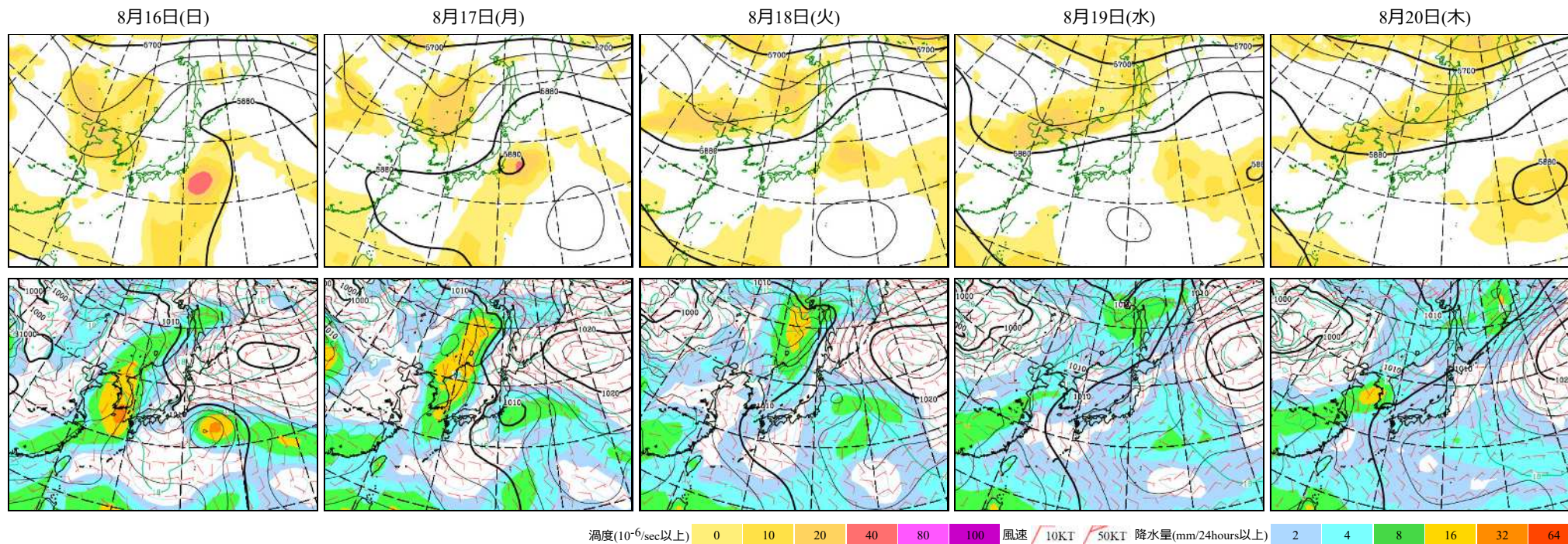
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

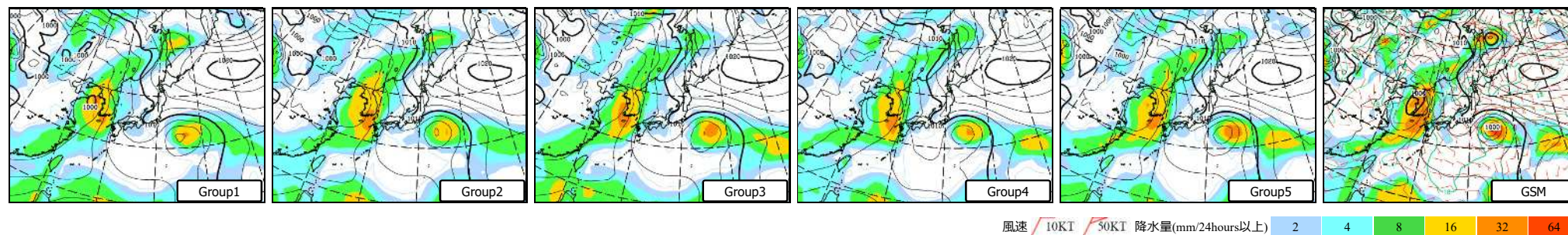


- 北日本は、曇りや晴れの日が多いが、17日と19日は雨の降る所がある。
- 東日本は、雲が広がりやすい。
- 西日本は、雲が広がりやすく、16日と17日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆8月16日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、16日から17日にかけて朝鮮半島付近を東へ進む500hPaで5820m付近のトラフが深くなり進みが早くなった。このため、降水確率ガイダンスの値が16日から17日にかけて九州北部付近で高くなった。期間の終わり頃は太平洋高気圧が日本の南で張り出しを強めた。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の後半は特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、台風進路予報や最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。